

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はっぴい西宮北口		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月22日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の療育室が3部屋に分かれています。	遊戯室、多目的室、学習室と個室になっており、子どもたちの状況に合わせた支援が可能です。	定員10名のところ職員を5名以上配置し、子どもたちの安心、安全にも配慮いたします。
2	活動内容が充実しています。	月一回支援プログラムを職員で集まり会議を行っています。また活動種別毎に担当を決めており、定期的に担当を変更することにより、子どもたちに飽きのこない活動を提案し、スキルアップに繋げています。特に土曜日、長期休みには送迎車を使用し、市外、県外の様々な施設の見学に行っております。	子どもたちや保護者様からも希望を伺い、満足度の高い活動を目指して参ります
3	様々なSSTの活動を行っております。	小学校1年生～高校3年生まで通われていますので、学年に配慮しながら ・パーソナルスペース ・絵カードロールプレイング ・危機管理 。会話のキャッチボール 様々なSSTを行っております。	事業所の療育が実生活や、学校で実践できるような内容を充実させていきたいと考えております。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)などができておりません。	職員の中でペアレントトレーニングの講師の経験者がいなかった為できておりませんでした。	ペアレントトレーニングの研修を受け、スキルを向上させ開催できるようにいたします。
2	地域の方(子ども、大人)との交流が少ないです。	その領域へのアポイントを積極的にとってこなかったのが要因です。	事業所から積極的にアポイントを取り、交流の場を広げていきたいと考えております。
3			